



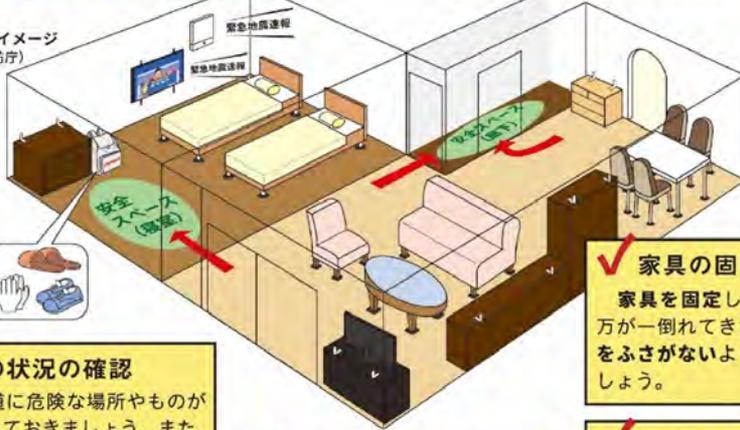
9月1日は「防災の日」です。改めて地震の揺れから身を守るための行動を意識しましょう。

地震の揺れは突然襲ってきます。 いつ大きな揺れに見舞われても身を守ることができるように、自宅・学校・職場などの日頃過ごす場所について、屋内・屋外問わず周囲の状況や避難経路を確認し、揺れに備えましょう。※揺れを感じたら津波に備えましょう。(広報6月号参照)

✓ 備蓄・非常持ち出し品の準備
非常時の水・食料の備蓄や、非常用持ち出し品を準備しておきましょう。

✓ 安全スペースの確保
室内になるべくものを置かない「安全スペース」(ものが落ちてこない・倒れてこない・移動しない空間)を作っておきましょう。

室内の備えのイメージ
(資料：東京消防庁)



✓ 手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、靴、手袋を備えましょう。
室内に散乱したガラスの破片などによるケガを防ぎます。

✓ 周囲の状況の確認
普段通る道に危険な場所やものがないか確認しておきましょう。また、地盤の弱い場所や地震によって地盤の緩んだ場所では、降雨などにより土砂災害が発生することがあります。前もって周囲の状況を確認しておきましょう。

✓ 連絡手段の確認
地震が発生したときの連絡手段や集合場所について、あらかじめ家庭で話し合っておきましょう。

✓ 家具の固定
家具を固定しましょう。また、万が一倒れてきた場合でも、通路をふさがらないような配置を考えましょう。

✓ 訓練に参加しよう
本当に地震が起こったときに、あわてずに身の安全を図ることができますか?積極的に訓練に参加しましょう。



地震の揺れを感じたら…
緊急地震速報を見聞きしたら… **あわてず、まず身の安全を!!**



家庭では

- ✓安全スペースに避難
- ✓頭部を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難
- ✓あわてて外へとびださない
- ✓無理に火を消そうとしない



屋外(街)では

- ✓ブロック塀などの倒壊に注意
- ✓看板や割れたガラスの落下に注意



エレベーターでは

- ✓最寄の階に停止させ、すぐに降りる



鉄道・バスでは

- ✓つり革・手すりにしっかりつかまる

沖縄気象台HP参照